

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公開番号】特開2015-4387(P2015-4387A)

【公開日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2013-129076(P2013-129076)

【国際特許分類】

F 1 6 F 9/14 (2006.01)

B 6 0 J 5/10 (2006.01)

E 0 5 F 3/14 (2006.01)

E 0 5 F 5/00 (2006.01)

E 0 5 D 7/086 (2006.01)

【F I】

F 1 6 F 9/14 A

B 6 0 J 5/10 Z

E 0 5 F 3/14

E 0 5 F 5/00 A

E 0 5 D 7/086

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月13日(2016.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

【図 1】(A)，(B)は本発明に係るロータリダンパーの全体構成の概略を示しており、(A)はロータリダンパーにおいてプラグを省略した平面図であり、(B)は(A)に示す A - A から見た断面図である。

【図 2】(A)，(B)は図 1 に示すロータリダンパーを備えた車両用扉の開閉機構の全体構成の概略を示しており、(A)はテールゲートが閉まった状態を示した側面図であり、(B)はテールゲートが開いた状態を示した側面図である。

【図 3】図 2 に示す B - B 線から見た車両用扉の開閉機構の断面図である。

【図 4】本発明の変形例に係る車両用扉の開閉機構の全体構成の概略を示しており、(A)はテールゲートが閉まった状態を示した側面図であり、(B)はテールゲートが開いた状態を示した側面図である。

【図 5】図 4 に示す C - C 線から見た車両用扉の開閉機構の断面図である。

【図 6】本発明の他の変形例に係るロータリダンパーの断面図である。

【図 7】(A)，(B)は本発明の他の変形例に係るロータリダンパーにおいてプラグを省略した平面図であり、(A)はロータリダンパーの静止状態を示した平面図であり、(B)はロータリダンパーの作動中における一過程を示した平面図である。

【図 8】(A)，(B)は本発明の他の変形例に係るロータリダンパーの全体構成の概略を示しており、(A)はロータリダンパーにおいてプラグを省略した平面図であり、(B)は(A)に示す D - D 線から見た断面図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

このローター108は、図示下方の嵌合凹部111がハウジング101の支持突起106に回転摺動自在に嵌合した状態で図示上側の端部がプラグ113によって支持されている。プラグ113は、ハウジング101内における内室109およびオリフィス105をそれぞれ液密的かつ気密的に密閉しつつローター108における接続部112の先端部側を回転摺動自在に支持する部品であり、平板リング状に形成されている。このプラグ113における内周面は、ローター108における図示上側の端部を回転摺動自在に嵌合する第1軸受部114を構成している。一方、プラグ113の外周部は、ハウジング101の開口部に対して同開口部のカシメ加工によって固定されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

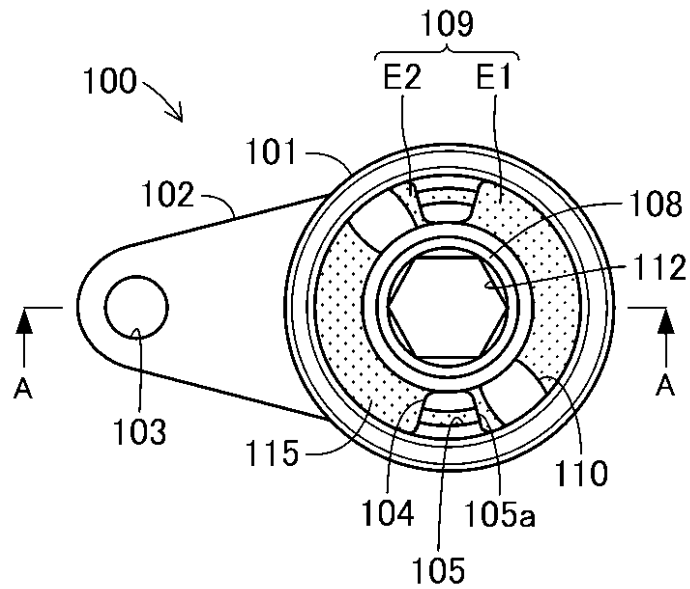
【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

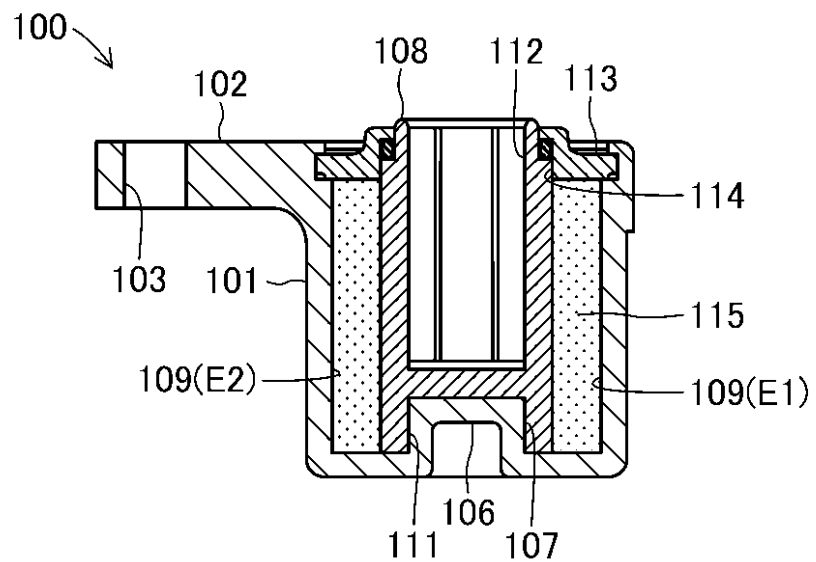
【補正の内容】

【図 1】

(A)



(B)



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

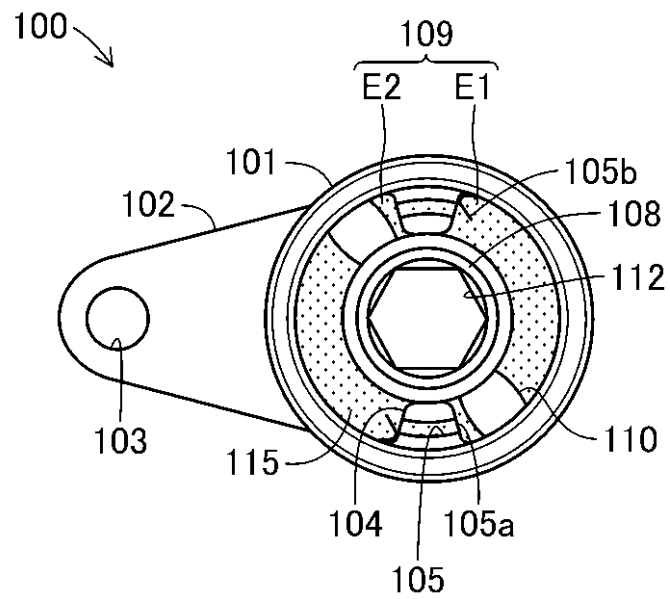
【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

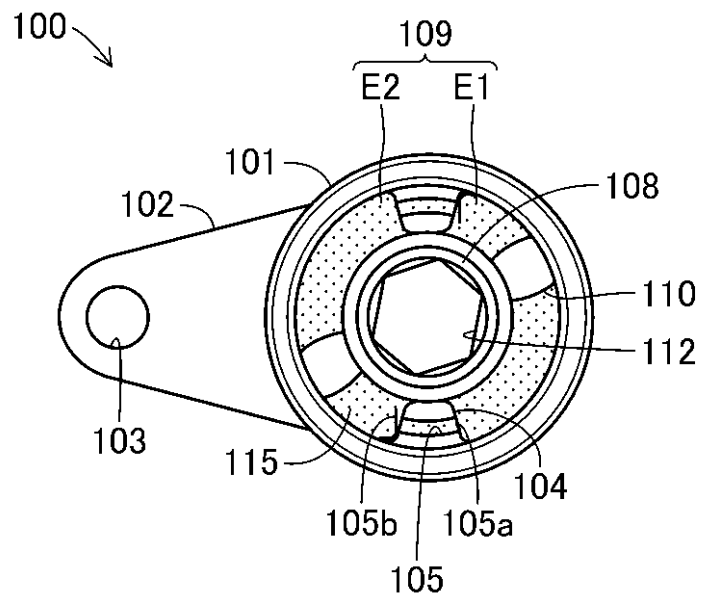
【補正の内容】

【図 7】

(A)



(B)



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

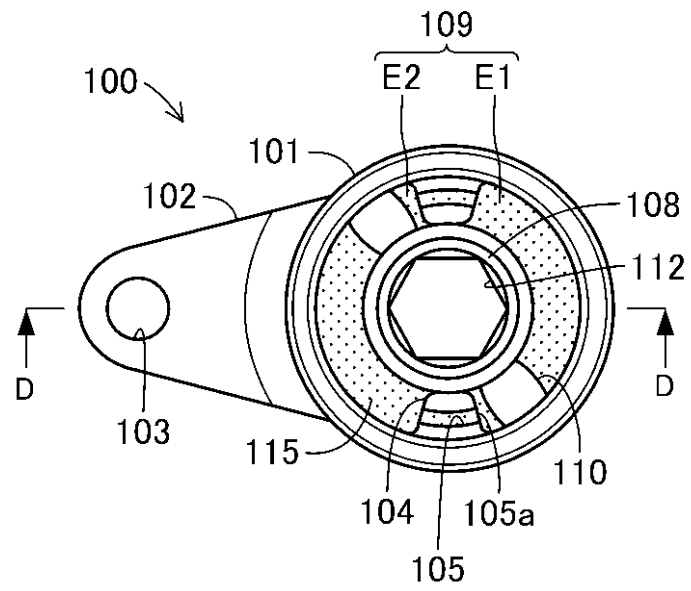
【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 8】

(A)



(B)

